

第4回交通政策審議会航空分科会基本政策部会

日時：平成25年3月4日（月）13：00～15：00

場所：中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室

主なご質問・ご意見：

<航空事業者に関する論点についてのご指摘>

- LCCが普遍的モデルへ「形式知」化するという話があったが、他方で今後個社同士の差別化が図られなくなるおそれもあると考えられるところ、将来の展開をどう見るか。
- 前回のエアラインのヒアリングにおいて、国内線に係る公租公課の負担が大きく国際線の競争における重荷であるとの意見があったがどう見るか。
- 本独自の航空ビジネスモデルが出てくる可能性はあるか。

<空港に関する論点についてのご指摘>

- 空港経営改革についてコンセッションでは不十分ではないかとの指摘なのか、あるいはコンセッションも含めそれぞれの手法が選択肢として考えられるということか。
- 規制や航空業界の産業構造が変化する中で、空港の航空系収入・非航空系収入の見込みがどの程度はっきりと描けるかどうかによって、コンセッション事業の価値が大きく変わってくるのではないか。
- 空港民営化と管制のあり方についてどう考えるか。
- 空港の整備を地域の問題として考える場合に、地域を県といった範囲よりも広く捉えるべきだと考えるがどうか。
- ネットワークの最適化と空港経営における全体最適というソリューションをどのようなプロセスとどのような場を通じて発見すべきか。

○空港がまちづくりの中で重きを置かれてこなかったのはどういった背景によるものか。

○空港の経営もネットワークの観点があるが、民営化によって戦略的な国際展開も進むと見るべきか。

○同一都市圏内の複数空港について、空港の立場としても競争があると価値が上がると考えるべきか。

<地方航空ネットワークに関する論点についてのご指摘>

○フランスと比較して日本では、同程度の需要の路線で運航回数が少なく、また、運航一回あたりの旅客数が大きな路線でも休廃止が見られるとのことだが、どういった背景によるものか。